

# パネリスト紹介

## モデレーター

### 門村 幸夜

文部科学省  
科学技術・学術政策研究所  
客員研究官

- NHKにおいて：社会情報番組 リポーター・キャスター、ディレクター
- 大阪大学において：文部科学省採択「協働育成型イノベーション創出リーダー養成」、NHKとの協同企画「白熱教室in大阪大学」招致、大阪大学・京都大学・神戸大学連携シンポジウム 司会、【緊急】シンポジウム「震災の今とこれから」ファシリテータ、第4回EDGEシンポジウム～新しい社会価値の共創に向けて～ 構成・ファシリテータ
- 文部科学省NISTEP：SciREXシンポジウム「イノベーション創出を支える博士人材の育成」リサーチ・司会、人材政策研究ワークショップ「次世代人材育成、高大連携で生かす博士力」司会・モデレータ など

## パネリスト（国研ベンチャー）

### 久米村 隼人

株式会社DATAFLUCT  
代表取締役  
(JAXA認定ベンチャー)

- 2019年の設立以来「データを商いに」というビジョンのもと、社会と企業の課題を解決するビッグデータ分析サービスを開発し続けるデータサイエンス・スタートアップスタジオです。
- JAXAベンチャーとしての強みを生かした衛星データの活用から、人流・気象・マーケティングデータなど、あらゆるデータを自社に蓄積することで多彩なサービスを展開。
- 幅広い業界への知見と実績を持ち、データ活用事業開発のプロとしてクライアントをリードするスピーディーな開発・実装のほか、クライアントのデータ活用フェーズに合わせた提案が可能。
- 全ての産業が安価で簡単に、高度な機械学習を使える世界を目指し、データの収集・分析からプロダクト開発までの全てをフルスタックサービスで届けます。

### 田中 裕介

株式会社オーシャンアイズ  
代表取締役社長  
海洋研究開発機構地球環境部門  
海洋生物環境影響研究センター  
東日本海洋生態系変動解析グループ特任准研究員

- 海洋数値モデルやデータ同化技術を用いることで、海水温や流向・流速と言った海況を高い精度で予測する技術や、地球観測衛星が観測した海水温データを元に深層学習とパターン解析を用いて雲を除去する技術で、視覚的にわかりやすいサービスを提供しています。
- 海との共生に向け、広大な海を理解し、そこから経済性と資源保護を両立させた持続可能な海洋発展を実現すること、研究成果を社会実装させることを目的としています。

## パネリスト（国研研究者）

### 成瀬 康

情報通信研究機構 脳情報通信  
融合研究センター  
脳情報工学研究室室長

- 日常での脳波計測を可能とするためのウェアラブル脳波計の開発、ウェアラブル脳波計を利用したアプリケーションの開発(脳波を用いたニューロマーケティング、脳波を用いた学習、脳波を用いた脳使用量評価等)、MEG/EEGの信号処理及びモデル化の研究に従事。

### 南光 一樹

森林研究・整備機構  
森林総合研究所  
森林防災研究領域

- 「森林」と「気象環境・立地環境」との相互関係について研究しています。具体的には、雨滴、森林に到達した降雨の樹冠による再分配、風・津波・雪崩などの流体による樹木の変形・破壊メカニズム、樹木による流体力の軽減効果、森林土壌の生成過程、山地斜面の土壌侵食について研究しています。
- 測器開発、野外観測、野外実験、室内実験、物理理論構築、機械学習によるデータ解析、など多種多様な方法を活用して課題解決をしています。
- 森林が存在することで起こる変化の定性的・定量的な解明を目指しています。また森林科学や林業の発展につながるような成果を生む研究を目指しています。

### 森崎 菜穂

国立成育医療研究センター  
社会医学研究部  
ライフコース疫学研究室 室長

- 新型コロナ流行期のこどもと保護者の生活と健康の現状を明らかにすること、問題の早期発見や予防・対策に役立てること、こどもたちと保護者の安全・安心につながるような具体的な情報を発信するために、2020年4月末より1-2ヶ月おきに全国オンラインアンケート「コロナこどもアンケート」を2021年1月までに4回実施。
- こどもの7割がストレス症状を示していること、「コロナにかかった人とは付き合いたくない」などコロナに関連するスティグマを感じているこどもが5人に1人いること、などを順次報告しており、各種メディアに数多く取り上げられている。